

# 会 議 録

## 1 会議名

平成27年度 第8回金谷区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 平成27年度地域活動支援事業の完了について（公開）
- (2) 地域活動支援事業の審査・採択ルール等について（公開）
- (3) 意見交換（公開）

これからの金谷区を考える

## 3 開催日時

平成27年12月22日（火） 午後1時28分から午後3時06分まで

## 4 開催場所

福祉交流プラザ

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委 員：田村恒夫（会長）、川住健作（副会長）、高宮宏一（副会長）  
石川美恵子、石黒正勝、市村政則、小池茂彦、高橋敏光、高橋日出男  
竹内恵市、樋口泰斗、山崎四十四、山下 洋、吉越春男
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 橋本センター長、槇島係長

## 8 発言の内容（要旨）

### 【槇島係長】

- ・ 上野委員、山口委員を除く14名の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は田村会長が務めることを報告

### 【田村会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 会議録の確認：石川委員、石黒委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

**【橋本センター長】**

資料により説明。

**【田村会長】**

事務局の説明について質疑を求めるがなし。

続いて、次第3報告(1)「平成27年度地域活動支援事業の完了について」事務局に説明を求める。

**【橋本センター長】**

資料No.1により説明。

**【田村会長】**

質疑を求めるがなし。

続いて、次第4議題(1)「地域活動支援事業の審査・採択ルール等について」、事務局に説明を求める。

**【榎島係長】**

資料No.2～4により説明。

**【田村会長】**

質疑を求めるがなし。

続いて、次第5意見交換を行う。

参考資料、「人口と世帯数の動向から考える金谷区の将来」意見交換内容のまとめについて、事務局に説明を求める。

**【榎島係長】**

参考資料により説明。

**【田村会長】**

今年度、金谷区地域協議会では、人口動態に関する研修と飯山市への視察研修を実施。また3回にわたる出張協議会で、地域の方と意見交換をして様々な意見をいただいた。高齢者支援課から介護保険制度の説明も聞いた。これらも含め、協議す

べき課題があるか、意見交換により議論を深めたい。

これからグループに分かれて協議するが、その前に重点的に議論すべきことについて意見があれば、お伺いしたい。

テーマを、人口動態と飯山市での視察研修の2点に絞ってよいか。

#### 【川住副会長】

先般の町内会長会議の年末総会で、地域活動支援事業のLED化事業の評判が良く、引き続き実施してほしいという意見が多かった。今年度の258台は完了し、金谷区28町内のうち工事台数10台以下の8町内は全部完了。残り約1,100台に1台あたり1万4千円として、計1千5～6百万円くらいの資金が必要。引き続き継続してほしいと思う。

金谷区は、川は青田川、儀明川、正善寺川、山は南葉山と金谷山があり、ある程度拠点ができているため、長い目で見てこれらをいい方法で結び付けたらいいのではないか。

灰塚の出張協議会では、外出したい高齢者の交通手段がないとのことで、今後はそういう問題が大きくなっていくと思う。

南葉山キャンプ場で使っている車両は、冬期間ほとんど車庫に入り、夏でも仕事がない時はキャンプ場の前で停まっている。キャンプ場や正善寺工房の行事は重なっていないようなので、今後は南葉キャンプ場を一つの施設として捉えるのではなく、各施設が上手く利用し合えるような方向で、車1台で運搬や人送ができるような態勢を考えてもらうことを提案したい。

#### 【田村会長】

今、川住副会長からLED化事業と、金谷地区の広範なエリアの中の交通の関係を勉強しようという提議があった。

他に意見を求める。

#### 【吉越委員】

前回の協議会で、農協の農産物直売所の話が出たが、平成28年度事業の中で農協中央支店の南側に、何らかの形で農家の皆さんが販売するような施設ができることになったと聞いた。規模は聞いてない。

【田村会長】

今の提起を含め、グループになるといろいろ出てくるかと思う。

金谷地区という大きなエリアの中で、どう地域を活性化させていくかということを含め、論議いただきたいと思う。

施設や南葉山の車が空いている時をうまく利用する等、いいアイデアが出てくればポイントになると思う。

金谷区のいろいろ分かれている地域性を念頭に、事業を含めたアイデアをお互いに寄せ合うことがこの次に繋がっていく。

資料5のグループで45分程度討議。終了後、5分程度の発表をお願いする。

— グループ討議 —

【田村会長】

意見交換の結果を各グループ5分程度で発表していただきたい。

【市村委員】

Aグループは観光だけに絞り討議した。

- ・観光は魅力がないとだめということ。
- ・金谷区の魅力は、やはり自然が一番。
- ・今の自然をそのまま活かしてPRしていけばいいのではないか。
- ・PRには、インターネットも一つの方法。地元の人が利用して良いところを見つけて発信することも必要。
- ・具体的には、1年に1回でもイベントを開催し、人を集めることも一つの方法。
- ・自然相手では収入につながらないケースがあり、考えないといけない。
- ・南葉山、金谷山、正善寺の3つの観光資源をルートとしてどう結んでいくか。
- ・年間通し、道路の環境整備が行き届かない。電車から車への乗り替えも考えられない。イベントをしても送迎の車がないので、レンタカーをもっと活用できないか。
- ・上越妙高駅には南葉山、金谷山、正善寺工房という言葉がなく、行政のPRに

盛り込んでほしい。

- ・遠方から人が多く来ている点も考慮しながらPRに力を入れたほうがいい。
- ・整備などの継続にはボランティアやサポーターの数を増やしていかなくてはいけない。

以上。

#### 【高宮副会長】

Bグループも、これからの金谷区ですべきこととして、南葉高原の活用について討議した。

- ・南葉高原は、春はたけのこ、秋はきのこが中心。それに合わせもっと集客。
- ・地元の間人すらあまり足を運ばない現状で、PRの見直し必要。それには子どもを集めることにより、親の同伴も期待できるのではないか。
- ・南葉まつり、あるいはレルヒ祭のようなイベントは単独で、政策に方向性が見えない。PR不足をどう補充、補完するか。
- ・中ノ俣への直通道路など、道路整備が必要。
- ・健康維持や観光のため観光地をめぐるハイキングコースの整備、PRが必要。それには、人・モノ・金が必要。
- ・中ノ俣集落の方々がNPO法人と行っている行事のようなものを、もっと身近なところでできないか。高齢化が進む地元がどれだけ手伝いできるか考える必要がある。
- ・今回の意見交換を手始めに、金谷地区の活性化について、視察研修で訪問した飯山から見習う点があるかどうかを今後の課題として検討。

#### 【田村会長】

各グループの報告をひとつの土台とし、議論を深めていくことではないかと思う。  
今日の論議を事務局でまとめ、次回配布。

#### 【高宮副会長】

南葉山の車を活用し各町内を回り、先ほどの新しくできる農産物直売所に買い物に行き活性化につなげるという意見もあったので、次回以降検討してはどうかと思っている。

【田村会長】

続いて、次第6「事務連絡」に入る。事務局に説明を求める。

【橋本センター長】

- ・第9回地域協議会：1月27日（水）午後1時30分～ 福祉交流プラザ
- ・第10回地域協議会：2月24日（水）午後1時30分～ 福祉交流プラザ
- ・地域協議会たより1月15日号（第24号）を発行
- ・新年祝賀会：1月4日（月）午前11時～正午 リージョンプラザ上越
- ・地域協議会の活性化に向けた見直しに係る条例改正案の議案が可決
- ・第7回金谷区地域協議会後の地域の方との意見交換時に出た質問への回答を報告

【田村会長】

質疑を求めるがなし。

会議の閉会を宣言。

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課

南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。